

虹の大樹

JAさっぽろコミュニケーションマガジン
「にじのたいじゅ」

2023年
7月号
NO.2988

協同組合という
虹のもと、
大都市に深く
根を張りそびえる
大樹のような
JAで
ありたい――



今月の特集
子どもと食べたい！
夏のパワー食材図鑑

近藤牧場での一番牧草の収穫作業
Photo by SOGA Takahiro

札幌の牧歌的な風景を守る 近藤牧場の4代目

琴似地区組合員 こんどうかつよし
近藤克宜さん (50)



北海道の代表的な風景のひとつとして親しまれてきたサイロ。札幌で100年以上存在してきたサイロがある暮らしの中で、牧草を生産する4代目の姿を追いかけました。

趣きある

2基の赤いサイロ

1915年(大正4年)創業の近藤牧場。

札幌市北区新川、新琴似1番通を北に向かっていくと開拓者ながらの風景に出会うことが出来る。

「札幌の原風景」。この言葉がしっくりくる牧場の風景は、「さつぽろ・ふるさと文化百選」や「北区歴史と文化の八十八選」にも選ばれているほどだ。

近藤牧場のシンボルともいえるのがこの赤い屋根の2基のサイロ。

牧歌的な北海道らしい農村景観が住宅街の中に未だ残っている事に驚くが、さらに驚くのがその構造。現在では、稀少となった木製サイロ(1925年建築)と札幌軟石製サイロが並ぶ。札幌には開拓時代からのサイロが点在

しているが、異なる作りのサイロが並んで使われているのは大変珍しく、ここにしかない貴重な風景を作り出している。

この風景を守りながら牧草を育てているのが琴似地区組合員の近藤克宜さん。近藤牧場の4代目として主に盤溪にある乗馬クラブに牧草を提供している。

「牧舎とサイロの管理は自分で行なっているんです。5年おき位に防錆剤を塗布したり、細かな修理を施したり。ただ祖父の代に外壁を張り替えて以来大きな修繕はしていませんですよ。台風や地震の時も大きな被害もなくて。昔の建物は本当に丈夫ですね。」と少し誇らしげな表情で話してくれた。

牧草生産にかける想い

かつては、30頭以上の乳牛

1. 澄みきった青空の中、近藤牧場に並ぶ牧草ロール。2. 創業当時から近藤牧場を見守る樹齢100年を超えるポプラ並木。3. 聳え立つポプラとサイロが北海道らしさを演出。4. 出来上がったばかりの牧草ロール。5. 牧草ロールを保管する倉庫内の様子。



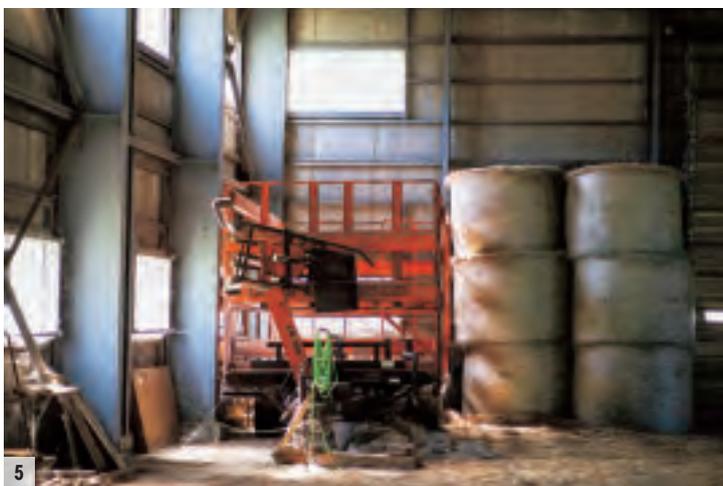
4



1



2



5



3

を飼育していた近藤牧場。都市化に伴い、30余年前から牧草の生産に切り替えた。育てている牧草はチモシーという品種で、撮影に伺った6月19日が丁度1回目の刈り取り時期となった。

「札幌まつりの前後が刈り取りの時期になるのですが、ここ数年はこの時期に雨が降る事が多くて困りますね。完全に乾いていないと刈り取りが出来ないので……。早く刈り取るよりは時期を遅くした方が良いので、年によっては7月上旬になる時もありますね。」

草丈1メートルほどに成長した牧草を約4日間で刈り取りし、200個の牧草ロールを作りあげ、2週間おきに盤溪の乗馬クラブヘトラックで運ぶ。

この刈り取り作業を年2回程度行なった後、堆肥を入れ、耕起し種を撒く。これが年間の作業になるが、この一連の作業を毎年克宜さん一人で行なっているというから驚きだ。

「うちの牧草を食べてくれ

る馬たちの為に頑張って続けていきたいですね。今年の牧草は、天候にも恵まれ、青々としてかなり良い出来だと思えますよ。」と嬉しそうに穏やかな口調で話す。

サイロと共に人生を歩んで

ここ新川地区では多い時に8軒程の牧場があったが、現在は近藤牧場のみとなった。

「生まれた時からこのサイロがあるので、サイロは私の生活の一部ですね。私の母もやっぱりこの風景が好きで残してほしいって言っているんです。その気持ちは私も一緒に、建物と土地を守り継いでいく、それが自分の役割だと思っています。」

牧場内には創業当時に植えられた樹齢100年を超えるポプラ並木が広がり、牧舎やサイロと相まって美しい牧場風景を生んでいる。この木々と2基のサイロは、これからも変わりゆく札幌の街並みを変わらずに眺め続け、克宜さんとお母さまの想いに応え続けていくだろう。

特集

子どもと食べたい!

夏のパワー食材図鑑

成長期の子どもにすくすく育ってもらうには
栄養バランスが大切です。
暑い夏を乗り切る栄養素をたっぷり含む食材と、
おいしい食べ方をご紹介します。

栄養バランス
ナンバーワン!

卵

卵は人の体に必要な栄養素が満遍なく含まれたスーパー食材です。特に、子どもに不足しがちなタンパク質、必須アミノ酸がバランス良く含まれています。朝の卵料理、いつものみそ汁に卵をプラスするなど、1日1個の卵で、夏休みの栄養バランスを整えましょう。

牛乳がさらに
パワーアップ!

ヨーグルト

牛乳を乳酸菌で発酵させて作るヨーグルト。牛乳に比べてタンパク質やカルシウムがより消化・吸収されやすくなっています。乳酸菌は腸内環境を整えてくれるので、免疫力を高め、便秘にも効きます。ナッツやきなこなど、食物繊維の含まれるものと合わせるとより効果的。果物と蜂蜜と合わせたスムージーは、見た目にも涼しくおいしくいただけます。

岡村 麻純 (タレント)

食育インストラクター。お茶の水女子大学食物科学講座卒業。
大学では食育をテーマに研究。男女2児の母

カルシウムが豊富。
丸ごと食べて

干しエビ

子どもの成長期に必要な不可欠なカルシウム。牛乳にも劣らずカルシウムの多い食材が干しエビです。炊き込みご飯やお好み焼き、チャーハンやスープ、パスタに。入れるだけでも風味が出ます。夏休みにも積極的に取りたいパワー食材です。

ビタミンB₁で
元気いっぱい

豚肉

スポーツなど、夏も毎日走り回り消費エネルギーの多い子どもたち！そのエネルギーを作るのに必要なのが豚肉に多く含まれるビタミンB1です。ビタミンB1の吸収を高めてくれるアリシンを含むタマネギ、ニンニク、ニラなどと組み合わせると効果がアップします。

夏の味方！
ビタミンCの王様

キウイフルーツ

キウイフルーツのビタミンC含有量はレモンの約2倍。夏は暑さや紫外線でビタミンCが不足しがちになります。ビタミンCは免疫力を高め、ストレス解消や疲労回復にも一役買ってくれます。グリーンキウイは食物繊維も多く、腸を元気にしてくれます。

発酵食品で
風邪に負けない
体をつくる

みそ

発酵食品は腸内環境を整え免疫力を高めることが分かっています。その中でもみそは、必須アミノ酸も多く消化吸収率も高い優れたもの。たくさん遊びたい夏休みにぜひ摂取したい食材です。みそ汁はもちろん、みそおにぎりや炒めもの、ドレッシングなど塩分の代わりに使うと味も栄養もアップします。

鉄分豊富な
万能食材

アサリ

夏休みのスポーツや勉強に集中したい子どもたち。脳の発達に必要な鉄分が多く含まれ、子どもも食べやすいのがアサリです。和食に中華に洋食と、いつでも活躍してくれます。砂抜き後に冷凍しておくとそのまま使えるので、湯豆腐に足す、スープに加えるなど小まめに利用できて便利です。

DHAで
記憶力アップ!?

サバ

サバは脳の神経伝達機能を助け記憶力に良い影響を与えるDHA（ドコサヘキサエン酸）に加え、カルシウムの吸収を助けるビタミンDも豊富です。塩焼き、みそ煮もよいですが、おいが苦手な子どもには、サバ缶を使ったトマト煮やみそ汁にすると、ずっと食べやすくなります。サバを食べて、夏休みの宿題にチャレンジしましょう！

アラカルト

組合員さんの
活動を紹介します！



市内4カ所の生産者直売所が

営業を開始しています！

とれたてつっこ南生産者直売所

南支店に隣接する「とれたてつっこ南生産者直売所」では6月1日（木）にJ・Aさっぽろの先陣をきって、今シーズンの営業を開始しました。

とれたてつっこ南は前身の「ふじのとれたてつっこ」を含めると18年目の営業。今年は16軒の生産者が出品します。

営業初日のこの日は、事前に南支店にポスターを貼って告知していたこともあり、オープン前から20名程の方が列をつくっていました。初日は小松菜、レタス、ブロッコリー、イチゴ、切り干し大根、



とれたてつっこ南に出品する生産者の皆さん
「新鮮な南区の野菜をぜひ食べてくださいね」

古川ポークなどが並び、訪れた人はカゴを埋め尽くすように商品を購入していました。同直売所運営協議会の東正信会長は、「コロナウイルスも落ち着いてきたので、多くの人に来て欲しい。」と話していました。営業は11月上旬までを予定しています。

店舗 DATA

営業 月～土曜日 9:30～15:00
*6月7月11月の土曜日は
9:30～13:00
休日 日曜・祝日
住所 札幌市南区石山2条9丁目
7-88
電話 011-592-6141(営業期間中のみ)



オープン直後から多くの人で賑わいました



しのろとれたてつっこ生産者直売所

「しのろとれたてつっこ生産者直売所」は今年から篠路支店に隣接する篠路経済店に店舗を構え、6月12日（月）にリニューアルオープンしました。

しのろとれたてつっここの営業は今年で13年目。今年は10軒の生産者が出品します。オープン前からこの日を待ちわびた地域の方々が列をつくり、レタスやチンゲンサイ、イチゴ（7月上旬までの限定商品）など多くの野菜を手に取り賑わいを見せていました。

同直売所運営協議会の鷺尾和義会長は「今年は店舗もリニューアルし、『とりり旨なす（白なす）』などの新しい野菜も出品する予定。多くの方に足を運んでもらいたい。」と話していました。

営業は11月上旬までを予定しており、10月以降には、札幌伝統野菜の『札幌白ゴボウ』も店頭に並ぶ予定です。



店舗 DATA

営業 月～土曜日 10:00～15:00
休日 日曜・祝日
住所 札幌市北区篠路3条10丁目1-1
電話 011-771-2130(営業期間中のみ)



しのろとれたてつっこに出品する生産者の皆さん
「リニューアルした直売所にぜひ来てくださいね！」



新鮮なチンゲンサイを手取る地域の方々



珍しい野菜に出会えることも！



店舗 DATA

☎ 月～金曜日 10：00～15：00
 休 土曜・日曜・祝日
 住 札幌市手稲区前田1条10丁目
 3-20
 ☎ 011-682-7161

「とれたてっつこ西」では、手稲区、西区を中心とした札幌全域と石狩地区の生産者が出品します。オープン当日は、小松菜やほうれん草、ニラをはじめ空心菜やスイスチャードなどの珍しい葉物野菜に加え、アスパラガス、イチゴ、ブロッコリーなどが並びました。商品数はまだ少なめですが、今後季節の野菜が並ぶ予定です。

直売所担当の山本職員は「地元で採れた新鮮な野菜の他、夏には手稲山口特産の大浜みやこかぼちゃや、サッポロスイカも並びます。地域の方に地元で採れた新鮮な野菜を美味しく食べて欲しいです。」と話していました。

営業は10月末までを予定しています。

新鮮な野菜を
取り揃えてお待ち
しています！



NEWオープン！
とれたてっつこ西

とれたてっつこ厚別



「是非皆さんお立ち寄りください」
桜井職員（左）と蟹田職員（右）



店舗 DATA

☎ 月～金曜日 10：00～15：00
 休 土曜・日曜・祝日
 住 札幌市厚別区厚別中央5条
 3丁目1-6
 ☎ 011-891-2154

旧東経済センター厚別直売所は今年から「とれたてっつこ厚別」に店舗名を変更して、6月12日（月）から営業を開始しました。営業初日はオープン前に30名程の列ができ、2日目以降も地域の方がオープン前から列をつくるなど賑わいを見せています。

今年は8軒の生産者が出品しており、厚別近郊だけではなく札幌全域の野菜を取り扱います。オープン当初はきゅうりやアスパラガス、ブロッコリー、ほうれん草などの野菜、イチゴや花などが並びます。今後、トマトやミニトマトなどの野菜も出品される予定です。

直売所担当の蟹田職員は「これからミニトマトなどの野菜が店舗に並ぶので多くの人に来て欲しい。」と話していました。

営業は10月末までを予定しています。



ホクレンシヨップ「もぎたて市」

札幌産農産物を

2店舗で販売中！

ホクレンシヨップ店舗内に毎年夏期限定で設けられる生産者直売コーナー「もぎたて市」。南区の中ノ沢店、清田区のFood Farm 平岡公園通り店では、近隣地域の生産者が収穫した野菜を鮮度そのままにご提供しています。6月中旬から開始しますが、7月からはさらに品数が増えていくとのこと。お近くにお出かけの際は、是非お立ち寄りください。もぎたて市は、10月下旬まで実施を予定しています。



中ノ沢店

住 札幌市南区中ノ沢
2丁目2
☎ 10：00～21：45

Food Farm
平岡公園通り店

住 札幌市清田区里塚
緑ヶ丘5丁目1-10
☎ 10：00～21：00

組合員との絆、地域とのつながりをより強く

1 統括支店 1 協同活動

琴似統括支店

5月23日(火)、琴似統括支店では小別沢にある同地区組合員漆崎智さんさとしもとの圃場をお借りし、職員10名で種芋の植え付けを行いました。漆崎さんの圃場での取り組みは今年が初めてとなりました。事前の耕起作業や当日の畝作り、職員への指導など漆崎さんのご協力のおかげで無事に20kgの種芋を植え付けました。

今後は、9月中旬に行なう地域の小学生以上の親子約50名を対象とした収穫体験に向けて、漆崎さんと職員が中間管理を行ないながら準備をすすめていきます。



耕起作業や当日の畝作りに協力いただいた漆崎さん

北札幌統括支店

5月9日(火)、北札幌統括支店では、同地区組合員相澤保さんの圃場をお借りして、浅井理事の指導のもと職員8名で札幌黄の定植作業を行いました。本活動では、地元の丘珠

小学校の児童に伝統野菜である札幌黄の栽培と収穫までを体験してもらい「食」と「いのち」の大切さを伝えたいとの思いから実施しているもので、今年で9年目となります。今年も、コロナウイルス感染防止の観点から児童と関係者の安全を第一に考え、職員のみで定植作業を取り進め、今後の圃場管理も職員が行い、8月下旬に予定している収穫体験で児童を迎えることとしています。今回の札幌黄の苗は、同地区川辺雅俊さんが丹精込めて育てたもので、約5千本が畑にきれいに植え付けられました。

尚、収穫体験後は、児童に持ち帰ってもらう他、学校給食にも使われる予定です。



札幌黄の定植作業を行なう北札幌支店の職員

平成26年度より開始したJAと組合員との絆作り、地域とのつながりの強化を目指す取り組み。組合員の皆さまをはじめ、沢山の方々にご協力いただき、各地区の特色を活かした活動を行っています。

新琴似統括支店

5月12日(金)、新琴似統括支店では、同地区組合員坂田正文さんの圃場をお借りして組合員1名・職員5名で、屯田大藤保育園の年中・年長の園児42名を対象とした、種芋の植え付け体験を行いました。坂田さんの圃場をお借りして行なうこの取り組みは今年が初めてとなります。

坂田さんや職員の身振り手振りでの教えに、園児は大きく手を挙げて返事しながら一人6個ずつ、小さな手で丁寧に土をかぶせて種芋を植え付け、圃場には元気の園児の声が飛び交いました。

今後は、8月下旬に予定されている収穫体験に向けて草取りなども園児と職員で行います。収穫体験では、収穫した馬鈴薯を園児が持ち帰る予定です。



男爵の定植作業を園児に教える坂田さん



SDG4
質の高い教育
をみんなに



西町統括支店

5月23日（火）、西町統括支店では、同地区組合員3名と職員3名が西野桜幼稚園の畑を訪れ、年長園児約90名を対象とした野菜の苗や種芋の植え付け体験を行いました。コロナ禍の影響で組合員と園児が一緒に植え付けを行なうのは4年ぶり。この日は、組合員、園の職員、支店職員がトマト、スイカ、ズッキーニなど7種類約60本の苗の植え付けをし、園児は種芋の植え付けを担当しました。園児たちは、組合員に植え付けの手ほどきを受け、「大きくなあれ」と声を出して願いを込めながら、やさしく土をかけていました。今後は、園児が生育状況の観察を行なう他、秋には組合員と園児で収穫体験も行なう予定です。



同地区組合員に教えてもらいながら植え付けを行なう園児



篠路統括支店

5月16日（火）、篠路統括支店では、同地区組合員7名と職員6名が太平南小学校を訪れ、同小学校の3年生60名を対象とした玉ねぎ（北もみじ2000）の定植体験を行いました。児童は組合員から苗の植え方や野菜を育てる楽しさなどを教えてもらいながら、終始笑顔で植え付け体験を行ない、その後は苗を踏まないようにと緊張しながら丁寧に水やりを行っていました。

今後は、草取りなどの手入れは毎週児童が授業の一環として行ないながら大切に育て、秋には組合員・職員とともに収穫体験を行なう予定です。

玉ねぎの苗を植える太平南小学校の児童たち



定植後の苗に緊張しながら水やり

清田統括支店

5月25日（木）、清田統括支店では、札幌清田ライオンズクラブ（北川洋一会長）が中心となり、清田小学校の敷地内にある水田「ゆめたんぼあしりべつ」で同小学校の5年生55名を対象とした「ななつぼし」の田植え体験を行いました。コロナ禍では収穫体験のみ児童が行なっていましたが、今年は収穫に加え田植えも体験。青空が広がる中、児童はたんぼに足をいれた時の冷たい感覚に驚きながらも田植え体験を楽しんでいました。今後は、9月の収穫体験に向けて、収穫までの管理を札幌清田ライオンズクラブが行ないます。なお、収穫体験で収穫したお米は授業の一環として行う調理実習で食べる予定です。



田植えを体験する清田小学校の児童たち

青色申告会

第21回通常総会を開催

研修会では、相続税のよもやま話について

青色申告会
(齊藤信明会
長)では、5
月18日(木)
本店3階大会
議室にて会
員・来賓・事
務局を含め38名
が4年ぶりに
集まり、顔を
合わせた形で



相続税をテーマにした佐藤和彦税理士と保浦孝充税理士による講演の様子

第21回通常総会を開催しました。

総会では、厚別支部の水口一雄支部長が議長を務め、すべての議案について満場一致で可決承認されました。総会終了後には、税理士法人松井一晃事務所より佐藤和彦税理士と保浦孝充税理士を講師に迎え、「相続税のよもやま話」と題して講演いただきました。会員からの相続税申告や税務調査についての質問にも色々な視点からの回答をいただきました。大変有意義な研修会となりました。

(白取特派員)

資産管理部会

第25回通常総会を開催

ミニ区画整理事業について解説

5月25日(木)、資産管理部会(高橋宣男部会長)では、部会員はじめ来賓・役員43名が出席し、本店3階大会議室にて第25回通常総会を開催しました。

総会は、北札幌支部の橋場武夫支部長が議長を務め、全ての議案について満場一致で可決承認されました。総会終了後には、札幌市まちづくり政策局の市橋氏より、札幌市の区画整理の今までと、これからについて説明がなされ、部会員は熱心に耳を傾けていました。

(川合特派員)



資産管理部会第25回通常総会の様子

酪農畜産部会琴似・手稲支部

令和5年度

牧草収量調査を実施しました。

6月6日(火)、酪農畜産部会琴似・手稲支部(萩中昭夫支部長)では、部会員9名が参加し、令和5年度 牧草収量調査(チモシー・オーチャード)を実施しました。

今年も近藤牧場を出発拠点として3班に分かれて出発。調査結果についてはサンプル分析に時間がかかる為、後日の飼料調査時の報告となりますが、農業改良普及センターより「今年は融雪が早く、牧草の萌芽期は1週間程度早まりました。6月1日現在では草丈は平年よりやや長く、生育は順調に進んでいます。これから一番牧草の収穫作業に入りますが、事故のないように注意して農作業の安全に努めてください。」と講評がありました。

萩中支部長は、「令和5年度の牧草収量調査を部会員はもとより例年通り関係機関の協力も得て無事実施する事が出来ました。各部会員の圃場の牧草の生育も順調で良く、今後普及センターに分析してもらい、より一層の牧草の収量増加等に繋がっていったらと思います。」と話していました。

(中川特派員)



酪農畜産部会琴似・手稲支部の皆さん

5月17日(水)～24日(水)の期間、3つの会場で苗物販売を行ないました。

苗物販売は当JA管内の生産者が気持ちを込めて育てた苗や肥料などを販売する5月の恒例行事。トマトやナス、札幌大長ナンバンなどの野菜の他にマリーゴールドやガザニアなどの花の苗も販売されました。今年には手稲支店駐車場会場、丘珠資材センター会場、ホクレンショップFood Farm 49条店特設会場の計3つの会場で実施。

丘珠資材センター会場では、販売開始前から長蛇の列ができ入場制限を設けて実施され、手稲支店駐車場会場でも予定より30分開始時刻を早めるなど大勢の人で賑わいました。また、ホクレンショップFood Farm 49条店特設会場は他の会場と比べると小規模ではあるものの、営業開始時刻になると続々と地域の方が駆け付けました。全ての会場で賑わいを見せた苗物販売は、良質な苗が買えると組合員や地域の方から好評を得ていました。



手稲支店駐車場会場



丘珠資材センター会場



ホクレンショップ Food Farm49条店特設会場



色鮮やかな装束を身にまとい、多くの市民に見守られながら組合員・職員が大役果たす

北海道神宮例祭(札幌まつり)の最終日、6月16日(金)に行なわれた「神輿渡御」に、琴似地区・中央地区の組合員と当JA職員あわせて20名が参加しました。

神輿渡御は今年で142回目。昨

年は感染対策のため

参加人数を減らし400人規模での開催でしたが、今年はおよそ1,300人が参加し4年ぶりに通常規模での開催。当JAの奉仕員は、4基ある神輿のうち1基目を担ぐ大役を担い、今年には15kmの道のりを一日かけて練り歩きました。

校(祇講を務めた柿原正文さん(中央地区組合員)は「去年は半日での開催となりましたが今年には晴天の中、制限のない通常開催で沿道にも多くの方に集まっていたことが何より嬉しいですね。長きにわたって神輿渡御ができるのも、組合員やJA職員のおかげであり、心より感謝しております。」と話していました。



平安期の華やかな衣装を着て札幌市内を練り歩く組合員と職員

今年も185袋の 豚糞堆肥を袋詰めし、 4年ぶりの慰労会を開催！

J Aさっぽろ青年部南支部（今村哲平支部長）では、5月23日（火）に部員8名・職員5名が参加して例年恒例の豚糞堆肥詰め作業を実施しました。

今年も古川農場様のご協力のもと、堆肥の袋詰め・袋閉じ・積み込みまでを部員と職員で作業し、部員や組合員へ販売するために1袋13kgの堆肥を185袋完成させました。また、同月30日（火）には、豚糞堆肥詰め作業の慰労会を観桜会と兼ねて4年ぶりに開催し、部員の皆さんは大変楽しそうに談笑されていました。

今村支部長は「南支部の伝統行事である豚糞堆肥詰め作業を継続できることを嬉しく思います。今後も青年部活動を通じて、南区の農畜産業を盛り上げていきたいです。」と話していました。

（秋中特派員）



4年ぶりに開催した豚糞堆肥詰め作業の慰労会

歴代生産者の今村哲平さん、小林紀彦さんが出演！ J Aグループ北海道感謝祭 「イチモニ農園トークショー」

J Aグループ北海道では、6月4日（日）に「みんなで考えよう国産国産」をテーマに、J Aグループ北海道感謝祭を開催しました。当日は、お笑い芸人やテレビ・ラジオ番組との連携によるトークショー、食育を体験できるブースイベントなど催し物が目白押し！開催前から行列ができるほどの盛況ぶりでした。

午前中には、HTB朝の情報テレビ番組「イチモニ！」の人気コーナー「イチモニ農園」のトークショーが開催され、田口彩夏アナウンサーと歴代の農園生産者としてJ Aさっぽろより今村哲平さん（南地区組合員）・小林紀彦さん（厚別地区組合員）が出演しました。トークショーでは、番組裏話や農業にか

ける思いを伝えた他、今村さんは田口アナウンサーから青年部オリジナルロゴ入りのTシャツの質問を受け、製作への思いなどを伝えながら札幌の農業をPRしました。

小林さんは6月の牛乳月間に触れ、「牛乳を一人でも多くの方に飲んでいただけたら嬉しいです。そしてぜひ国産のチーズの味を感じてほしいです。」と話し、リアルな生産者の話に会場の多くの方がうなずきながら耳を傾けていました。



©HTB

生産者としての思いを熱く語ったトークショー



©HTB

トークショー終了後はお決まりの「イチモニポーズ」
左から田口彩夏アナウンサー・今村哲平さん・稲村政崇さん（J A北いしかり）・小林紀彦さん



JAさっぽろ青年部

エスコンフィールドで

札幌近郊の農畜産物をPR！

JAさっぽろ青年部（大畑一郎部長）では、5月23日（火）にエスコンフィールドHOKKAIDOの販売ブースに出店しました。この取り組みは、JAバンク北海道プレゼンツスペシャルナイターの一環として1日限定で実施され、各JAの加工品のPRを目的に全道から7JAが参加。

当日は、青年部員2名と事務局が参加して2万人を超える来場者に対して、15時から19時半まで終始声を出しながら、青年部員が生産する加工品や小松菜・ほうれん草をPR・販売しました。

大畑部長は「初めての取り組みとなりましたが、販売品も概ね完売になるなど大盛況で終わることができ安堵の気持ちです。

青年部の仲間が生産した野菜や加工品を多くの方に知っていただくことができ、嬉しく思います。」と話していました。



青年部オリジナルロゴマークが入ったお揃いのユニフォームで札幌の農畜産物をPR販売
左から事務局、大畑部長、坂東支部長

コープさっぽろと

札幌伝統野菜学習会を開催



JAさっぽろでは、5月17日（水）、生活協同組合コープさっぽろの組合員18名を対象に「札幌伝統野菜学習会」を開催しました。今回の取り組みは、「食」と「農」の共通の目的を持つ協同組合間連携強化の一環として、生活協同組合コープさっぽろより依頼を受け実現。学習会では、広報課職員が講師となり約1時間、オリジナルの資料や映像を用いて、札幌伝統野菜をはじめ、札幌の農業について伝えました。受講者からは「普段から地産地消は心がけているが、さらに札幌の野菜を食べて応援していきたい」、「札幌の伝統野菜を守っていきたい。伝統を絶やさないうようにするために私たちができることは知って食べて広めること。今回の講座で知ることができてよかった」などメッセージをいただきました。JAさっぽろでは、今後もより多くの方に札幌伝統野菜をはじめとした札幌農業の持つ価値を発信できるよう取り組みを継続していきます。



札幌伝統野菜学習会の様子

北大祭で献血協力を呼びかけ！
協力者にポラスターを手渡し



6月3日（土）、JAさっぽろでは地域貢献活動、さらにSDGs達成に向けた取り組みの一つとして、北大祭を訪れた方々に献血協力を呼びかけました。

この取り組みは、輸血用血液が不足しがちな昨今の状況を踏まえ、献血協力者の増加を目指そうと北海道赤十字血液センターと連携し実施したものです。

献血協力者には、鉄分豊富で貧血予防にも効果があるといわれるほうれん草（清田区産ポラスター）をプレゼント！健康増進にも貢献する取り組みとなりました。当日は、時折強い雨が降る不安定な天気でしたが、広報課職員2名も参加し広く呼びかけ、20名以上の方に献血に協力していただきました。

JAさっぽろでは今後も献血協力活動を継続していきます。



北大祭「医学展」会場に設置された献血ブース
北海道赤十字血液センター職員（左）とJAさっぽろ広報課職員（右）

重要なお知らせ

「肥料価格高騰対策事業」(国費事業)の申請受付について

肥料価格の高騰による農業経営への影響緩和の為、国による『肥料価格高騰対策事業』が実施されております。令和4年6月1日～令和5年5月31日までに購入した肥料が対象となり、前記期間内に肥料を購入した農業者(農畜産物の販売実績があること)が化学肥料低減の取り組みを行った上で、購入金額から国の計算式※で算出し、申請する事業です。当組合から申請される場合は、本事業対象期間に購入した対象肥料の注文書、領収書、肥料購入伝票、請求書等、必要書類を用意し、令和5年7月末日までに最寄りの経済店へご来店願います。ご不明な点がございましたら下記まで、お問い合わせ願います。

問い合わせ先：経済部営農課 TEL：011-782-8130

$$\text{支援金} = (\text{当年の肥料費} - \text{当年の肥料費} \div \text{価格上昇率} \div \text{使用量低減率}) \times 0.7$$

※価格上昇率は1.4 使用量低減率は0.9 ※計算後、支援金は購入した肥料費の約14%



2回戦でホームランを放つ外石和也主将

11年ぶりの全道大会出場！
JAさっぽろ野球部が
石狩管内JA野球大会で準優勝

JAさっぽろ野球部は6月3日(土)から行なわれた、第63回石狩管内JA野球大会に出場しました。

同野球部は6月3日(土)の1回戦目、JA北いしかりに6対0で勝利。翌日4日(日)に行なわれた準決勝はJAいしかりに7対0で勝利し決勝へ駒を進めました。5日(月)の決勝戦では惜しくもJA道央に2対5で敗れたものの、優勝・準優勝の2チームが10月から開催される全道大会への出場権を得ることから、11年ぶりとなる全道大会出場が決定しました。

同野球部の斉藤竜太監督は、「悪天候にもかかわらず、多くの組合員・職員の皆さんが応援にかけてくださったことが、全道大会出場への大きな力になりました。全道大会までに、さらに選手一丸となって練習に励み全道優勝を目指します。」と力強く話していました。



全道大会出場を決めたJAさっぽろ野球部

理事会だより

第2回定例理事会

令和5年5月31日（水）午後2時00分より本店役員会議室において第2回定例理事会が開催された。

● 監事会報告事項

1、令和4年度決算監事監査報告

● 協議事項

1、「農業振興計画（令和4年度～令和6年度）」にかかる令和4年度末総括について

農業振興計画における9つの方策について、令和4年度の実施状況、及び結果について説明され、可決決定。

2、第25回通常総代会の提出議案について

第25回通常総代会の提出議案及び参考事項について説明され、可決決定。

3、第25回通常総代会の目的事項について

第25回通常総代会の目的事項（議事日程・決議事項・報告事項）が説明され、可決決定。

4、JAさっぽろ農業振興計画および第5次中期3カ年経営計画の取り組みについて（要約版）

規制改革実施計画および総合農協

向けの監督指針において「①自己改革を実践するための具体的な方針」、「②中長期の収支シミュレーション」、「③准組合員の意思反映および事業利用に関する方針」を総代会で決定することが求められており、その「3つの方針」を作成、事業計画の補足資料として添付の上、提出したい旨、および資料の内容が説明され、可決決定。

5、総代会参考書類に記載すべき事項、決算関係書類及び部門別損益計算書について

第25回通常総代会議案（総代会参考書類）記載の内容、決算関係書類（貸借対照表・損益計算書・注記表・附属明細書）、剰余金処分案、監査報告書、部門別損益計算書について一通り説明され、可決決定。

6、議決権行使書面について

第25回通常総代会における議決権行使書面の様式、賛否の判定、提出期限等が説明され、可決決定。

7、代理人による議決権の行使について

第25回通常総代会における代理権標識の様式、配布方法等が説明され、可決決定。

8、令和5年度給与改定について

令和5年度の平均定昇額及び定昇率等の改定案が説明され、可決決定。

9、令和5年度夏期手当の支給について

夏季手当の支給基準・支給人数・支給総額・支給日等が説明され、可決決定。

10、大口融資の取り扱いについて

北札幌支店大口融資1件について、申込事項・取組経過・資金計画・財務状況・保全状況・弁済見込み等が説明され、可決決定。

1、みのり監査法人期末監査報告

2、組合員から当組合へ対する訴訟の提起について

3、「マネーローディング及びテロ資金供与対策に関するガイドライン」とのギャップ分析の石狩振興局への報告について

4、「JAバンクの内部管理体制構築にかかる指針」について

5、JAバンク経営戦略シートの策定について

6、令和4年度自己資本比率について

7、総合的なリスク量の報告について

8、「有価証券に係るリスクの量的管理」の報告について

9、資産自己査定結果の報告

10、令和4年度大口信用供与先経営状況報告

11、貸出金に係る信用集中リスク報告

12、令和4年分確定申告集計について

13、4月末財務状況報告

14、4月末組合員加入・脱退状況及び未済持分譲渡報告

15、5月の動静と6月の予定について

16、札幌協同振興(株)の令和4年度決算等報告

（閉会・午後4時58分）

令和5年5月末業務実績 令和5年4月末業務実績

JAさっぽろ DATA	組合員数	正組合員	3,462名	3,457名
		准組合員	31,863名	31,824名
	合計	35,325名	35,281名	
出資金残高	65億6千7百万円	65億4千2百万円		
販売取扱高	1億7千4百万円	1億8百万円		
購買供給高	2億2千5百万円	8千2百万円		
貯金残高	3,455億円	3,457億8千6百万円		
融資残高	909億5千6百万円	908億7千4百万円		
共済保有高	5,940億7千1百万円	5,941億1千4百万円		
施設建設取扱高	0円	0円		
管理受託戸数	4,602戸	4,613戸		

サッポロさとらんどからのお知らせ

サッポロさとらんどでは、
様々な講座を実施しています。

夏休み食育講座

(7月11日頃から受付開始)

野菜たっふり

サラダピザづくり

・日時：7月25日(火)

7月26日(水)

8月1日(火)

8月2日(水)

8月8日(火)

8月9日(水)

11時～11時45分

・会場：さとらんどセンター

・定員：10組(1組2名)

・参加費：各1,000円



さとらんど講座

(7月11日頃から受付開始)

せっけんづくり

・日時：8月12日(土)

11時～12時

・会場：さとらんどセンター

・定員：10名

・参加費：1,000円

【講座の申し込み・お問い合わせ】
サッポロさとらんど

〒007-1088

札幌市東区丘珠町584番地2

電話(011)787-0223